

街路事業

な すしおばら

くろいそな すきた

にしなすのなす

那須塩原都市計画道路 3・3・2 号黒磯那須北線 (主要地方道西那須野那須線)

な すしおばら し かみあつさき

那須塩原市上厚崎

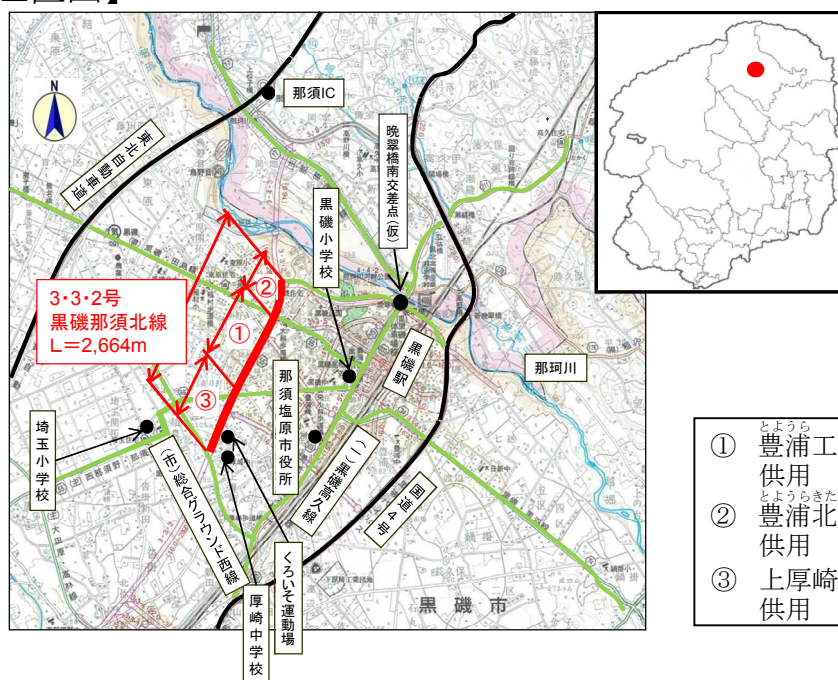
〔平成 21 年 6 月 供用〕

1 事業概要

那須塩原都市計画道路 3・3・2 号黒磯那須北線は主要地方道西那須野那須線の一部を形成し、旧黒磯市街地と西那須野塩原 I C 及び隣接市町を広域的に連絡する重要な路線であり、旧黒磯市街地の環状線を形成するものです。

本事業は、那須塩原市上厚崎地内の市道総合グラウンド西線の交差点から、那須塩原市北栄町地内までの区間の道路を新設するものです。

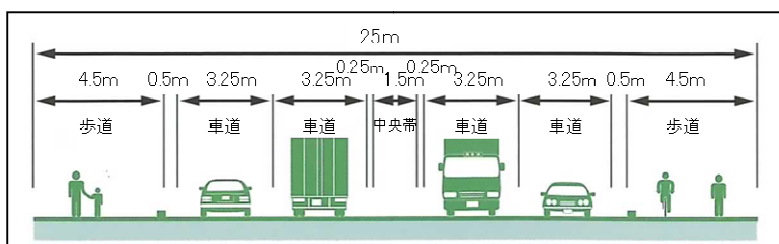
【位置図】



- ① 豊浦工区
供用 平成 12 年 3 月
- ② 豊浦北町・北栄町工区
供用 平成 17 年 3 月
- ③ 上厚崎工区
供用 平成 21 年 6 月

- ◆ 事業名：緊急地方道路整備事業(街路事業)
- ◆ 事業箇所：3・3・2 号黒磯那須北線
那須塩原市上厚崎
- ◆ 事業主体：栃木県
- ◆ 全体延長：L = 2,664m
- ◆ 幅員：W = 25.0m
(車道 3.25m、歩道 4.5m 両側)
- ◆ 総事業費：約 68 億円
- ◆ 事業期間：平成 5 年度～平成 21 年度

【標準横断図】



2 事業の目的・必要性

旧黒磯市街地では一般県道黒磯高久線以外に南北に縦断する道路がないため、朝夕の通勤通学時間帯には交通が集中し、交通混雑や自転車・歩行者の安全性の改善が課題となっていました。

このため栃木県では、「円滑な交通の確保」、「自転車・歩行者の安全で安心な通行の確保」、「都市防災機能の向上」を目的に、旧黒磯市街地を南北に縦断する約 2,700m の新設道路の整備に着手し、平成 12 年 3 月に豊浦工区、平成 17 年 3 月に豊浦北町・北栄町工区、平成 21 年 6 月に上厚崎工区の供用を開始しました。

3 事業の効果等

<費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化>

- ・事業費 着手前 約 68 億円 → 完成時 約 68 億円
- ・事業期間 着手前 平成 5 年度～平成 21 年度 → 完成時 平成 5 年度～平成 21 年度

<円滑な交通の確保>

旧黒磯市中心市街地内の南北方向の通過交通が本路線と一般県道黒磯高久線とに分散化が図られました。その結果、一般県道黒磯高久線の交通量が減少し、市街地を通過する所要時間も短縮されました。

- ・一般県道黒磯高久線（^{ばんすいきょう}晩翠橋南の交差点（仮称）南側）の 12 時間交通量
（開通前）14,255 台/12h ⇒（開通後）10,781 台/12h（3,474 台/12h 減少）
- ・晩翠橋南の交差点（仮称）～の市道総合グラウンド西線との交差点で所要時間が最大 7 分短縮された。（ピーク時）

<自転車・歩行者の安全で安心な通行の確保>

本路線へ自動車交通が分散したことにより、一般県道黒磯高久線の自動車交通量が減少し、通学児童・生徒の危険性が低下し、生活環境が改善されました。

また、本路線では両側に 4.5m の自転車歩行者道が整備され、自転車や歩行者が安全・安心に通行できるようになりました。

<都市防災機能の向上>

本路線の整備により緊急時のアクセスが向上するとともに、総幅員 25m の道幅を確保し、市街地内の延焼防止等の都市防災機能の向上に寄与しました。



整備前（一般県道黒磯高久線）

（黒磯小学校南側付近）



整備後（本路線）

（くろいそ運動場北側付近）

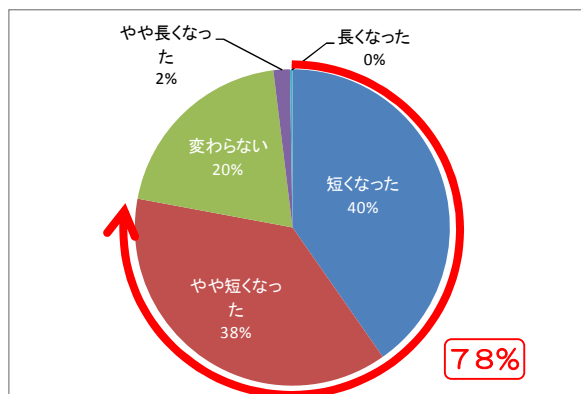
4 地元の声

本事業の整備により、生活や環境などにどのような変化があったのかを確認するために、アンケート調査を実施しました。

(回答数/配布数：423 件/505 件 回答率 84%)

〈円滑な交通の確保〉

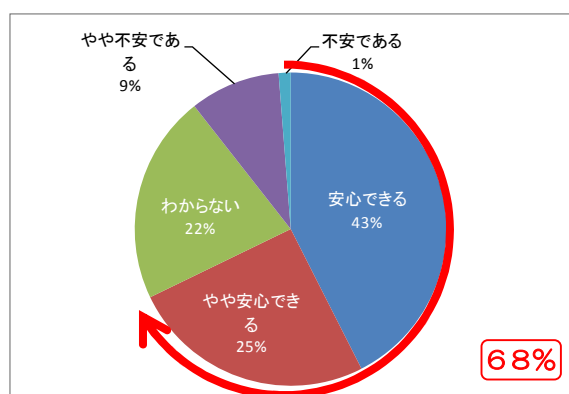
(1) 移動時間について



自動車による道路利用者の約 8 割が、市街地内の通過時間が短くなったと感じています。

〈自転車・歩行者の安全で安心な通行の確保〉

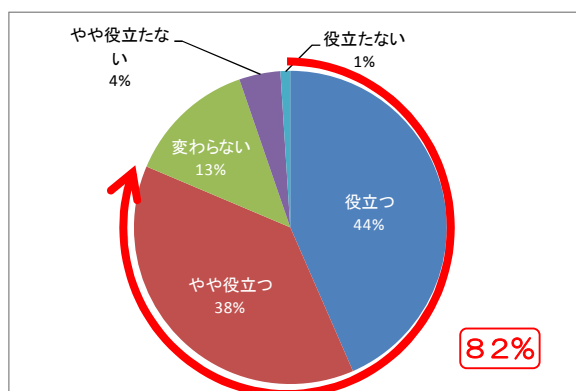
(2) 道路利用時の安全性について



歩行者・自転車による道路利用者の約 7 割の方が安全性や安心感が向上したと感じています。

〈都市防災機能の向上〉

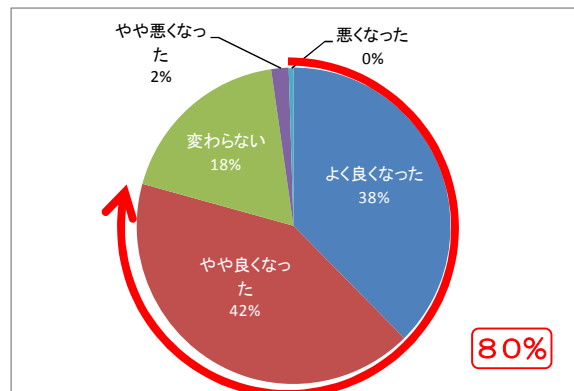
(3) 緊急時での避難や生活物資の輸送路について



約 8 割の方が緊急時に避難路や緊急の物資の輸送道路として役立つと感じています。

〈その他〉

(4) 沿道の景観やまちなみについて



約 8 割の方が、開通後、沿道の景観やまちなみがよくなったと感じています。

(5) 自由意見：開通による効果について（意見の多かった内容）

- ・ 車道、歩道が広く、見通しも良いため車で走りやすい。
- ・ 歩道が広く、車道と分離して安全。
- ・ 混雑、遠回りを避けられ、移動時間が短縮された。
- ・ 商業施設が増えて買い物がしやすくなり、活気が出てきた。

(6) 自由意見：その他（意見の多かった内容）

- ・ 反対車線側の目的地に行きにくい。
- ・ 自然が減った。

5 事業による環境変化

特になし

6 事業を巡る社会経済情勢の変化

旧黒磯市くろいそしと旧西那須野町にしなすのまち、旧塩原町しおぼらまちは平成 17 年 1 月に合併し、那須塩原市なすしおぼらしとなりました。

7 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

本事業により、旧黒磯市街地内の南北方向の自動車交通量が分散し円滑な交通が確保され、両側に 4.5m の歩道が設置されたことにより、自転車・歩行者が安心して通行できるようになりました。

このため、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考えています。

また、黒磯那須北線を現在の区間より北側に事業延伸することにより、さらなる事業効果が期待できるため、各関係機関と協議・検討を行っていきます。

8 同種事業への反映

本事業については、十分な効果を確認することができたとともに、アンケート調査では幅広い視点から多くの貴重なご意見等を頂きました。その中で「反対車線側の目的地に行きづらくなった」との意見がありました。中央分離帯の設置によるものと思われませんが、同種事業の実施に当たっては車両及び歩行者の安全性を確保することが重要であることから、設計の段階から十分な地元への説明を行うなど、努めていきます。

栃木県 県土整備部 都市整備課

T E L : 028-623-2475 FAX : 028-623-2477
 H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h09/index.html>
 E- mail : tseibi@pref.tochigi.lg.jp

